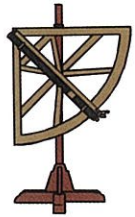


伊能忠敬測量隊の主な器具・資料



ちゆうしやうげんぎ
中象限儀

恒星の高度を観測する道具。恒星の高度は1分(1度の60分の1)まで測ることができた。



すいしやうきゆうぎ
垂揺球儀

振り子が揺れた数を記録する器具。一日の振り子の揺れは約5万9千回。



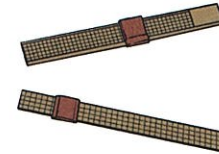
かんせいきやう
観星鏡

日食・月食を観測する望遠鏡。



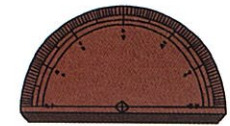
地図用具(印)

「伊能図」に地図記号を記すための印で地図合印あひしるとも呼ばれる。



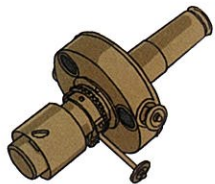
せちちゆうしゃく
折衷尺

忠敬が用いた尺度の基準器とされる道具。



ぶんどき
分度器

作図の際、角度を測るためなどに使われた。



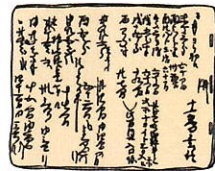
そくしやくていぶんぎ
測食定分儀

日食・月食を観測する器具。観星鏡に取り付けて使用した。



ゾンガラス

日食や太陽の南中を観測する際に使用された遮光板。



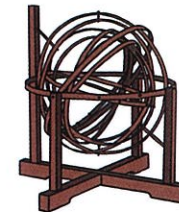
やちやう
野帳

測量結果や現地の様子を書き記した資料。



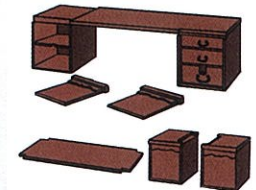
ほういし
方位紙

地図製作に用いたとされる方位を示した紙。



こんてんぎ
渾天儀

天体の位置の測定や動きを示す模型。



組み立て机

測量先に携行した組み立て式の机。宿などでの作業机として使用されたとされる。



はり
針

地図製作に用いた針。測点の位置を示すために使われた。



からすぐち
地図用具(烏口)

作図用のペン先。一定の太さの実線を引くことができる。



てんせんぎ
地図用具(点線儀)

作図用のペン先。点線を引くことができる。